

新たな治療法のご案内 ～PFC-FD療法～

再生医療の一つにPRP（多血小板血漿）療法という方法があります。

血小板の中には成長因子が多く含まれており、細胞の成長を促す物質や免疫に関わる物質が含まれています。この治療法によって従来様々な薬剤を使用しても厚くならなかった子宮内膜が、胚移植に必要な十分な厚さになり胚移植が可能になることが期待されます。また、子宮内環境を改善することも期待されており、良好胚を複数回移植しても着床が成立しない方へも有効と考えられています。

今回導入した、血小板由来因子濃縮物による治療法（PFC-FD療法）は患者さんご自身から採血した血液をセルソース株式会社へ輸送して血小板由来因子のみを抽出・濃縮して凍結乾燥した後にクリニックへ返送して使用できるシステムです。

使用スケジュールは凍結融解胚移植スケジュール中に1回～2回、PFC-FDを溶解して子宮内に注入し、内膜が十分な厚さになったことを確認した後に融解胚移植を実施します。

現時点では上記、十分な子宮内膜の厚さが得られない方、また良好胚を複数回移植しても着床が成立しない方を対象として行います。卵巣機能が低下した方への、卵巣注入に関しても今後導入を検討しております。

費用など詳しい方法に関しましてはクリニック来院時にお尋ねください。